

「乳がん術後連携パス」にご協力いただける先生へ

1. 対象患者について

乳がん術後連携パスの対象となる患者さんは、①乳がん治癒切除後であり、②原則として化学療法を必要とせずホルモン治療を行う方で（一部にホルモン治療に経口化学療法剤を併用する方もいます）、③薬剤投与後の副作用を当センターで確認後、長期投与可能と判断できた方に限ります。

2. かかりつけ医の先生の初回診療時期

患者さんから「連携パス」導入の同意が得られれば、担当者から連絡をさせていただきます。術後2～5ヶ月以降を目途に開始を基本として診療をお願いします。

3. かかりつけ医の先生の初回診療時と毎月診療時

初回診療時まで、以下のものを地域連携室より郵送させていただきます。

- ・ 乳がん術後連携パス（医療者向け）
- ・ 診療情報提供書
- ・ その他の資料一式

毎月診療時には、投薬と可能な範囲での検査等をお願いします。

別紙「乳がん術後連携パス（医療者向け）」を参考に、投薬と可能な範囲での検査項目について実施していただければ幸いです。

また、患者さんには「乳がん術後連携パス（患者用）」をお渡しし、自己チェックで気になることや日常の健康管理で気になることがあれば、かかりつけ医の先生に相談するよう伝えておりますので、よろしくをお願いします。

4. 大阪南医療センター受診の前に

大阪南医療センター定期受診前の診療時には、可能であれば診療情報提供書を記載していただき、患者さんにお渡しください。（診療情報提供によりがん治療連携指導料を算定していただけます）

5. バリエーションと対処法

バリエーション		対処法
再発が疑われるとき	症状がなく、差し迫った生命の危険がないと思われるとき	2週間をめどに大阪南医療センター乳腺外科受診
	症状がある、または差し迫った生命の危険があると思われるとき	電話連絡ののち大阪南医療センター乳腺外科あるいは救急外来受診
患側上肢の炎症	炎症の治療	抗炎症剤、消炎鎮痛剤の内服 安静
	上記の治療が無効のとき	直近の乳腺外科受診

内服薬(内分泌治療薬)による副作用	肝機能障害	2～4週間休薬後、肝機能を再検し、改善されていれば再開
		改善しないときは、2週間以内をめどに外科受診
	不正出血	産婦人科受診
		異常がなければ内服継続
	高脂血症・体重増加	生活改善
		改善しないときは、高脂血症治療剤の内服等

6. その他

- ・ 投薬については、基本的にかかりつけ医の先生にお願いしております
- ・ 投薬間隔は1～3ヶ月毎(かかりつけ医の先生のご判断)でお願いします
- ・ 副作用等が疑われるときは、先生のご判断で適宜、投薬の中止・再開をしていただいて結構です。
- ・ 投薬終了後の通院間隔はかかりつけ医の先生のご判断でお願いします(できれば3～6ヶ月毎)
- ・ 5年目以降のかかりつけ医の先生の診療は必要時(3～6ヶ月)にお願いします
- ・ 大阪南医療センターでの定期受診は10年目までとしています
- ・ 定期受診日以外でも必要があれば大阪南医療センターの受診を患者さんに案内してください。

7. お問い合わせ先

大阪南医療センター

電話 0721-53-5761 (代表)

地域医療連携室・がん診療地域連携パス担当